

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		体育の日記念行事				所管	教育委員会 青少年・スポーツ課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等	法令(義務)		[法令等名]	スポーツ基本法				
	事業対象	一般区民							
	事業目的	区民の方に、「体育の日」のイベントを通じてスポーツについての理解や関心を深めていただくとともに、生涯スポーツの普及・振興をはかる。							
	事業内容	台東リバーサイドスポーツセンター体育館、陸上競技場、清島温水プール等の体育施設を利用して、多くの区民が参加できる体育行事を行なう。							
委託の有無	一部委託		委託内容	体育の日記念行事運営					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	開催種目 (種目)		30	30	33	32		
	成果指標	参加者数 (人)		1,600	1,393	1,135	1,547		
	決算額 (単位：千円)				722	722	665		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			3,150	2,003	2,130		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			723	723	665		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0		
		総経費			3,873	2,726	2,795		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
一般財源 (区負担額)			3,873	2,726	2,795				
前年度から改善した事項		新たな試みとしてスタンプラリーを実施し、参加者により多くのスポーツを体験してもらう工夫をした。またスタンプラリー導入に伴い、参加者が大幅に増加した。							
評価の視点		評価	評価の理由						
	必要性	3	スポーツへの関心を持つきっかけとなり、体力・健康の維持、スポーツや運動を継続することの必要性を考える機会として意義がある。また、家族で来られる参加者もあり、コミュニケーションの場のひとつとしても役割を果たしている。						
	効率性	3	体育協会・スポーツ推進委員協議会・スポーツ少年団・ラジオ体操連盟の4団体で実行委員会を組織し、運営を行ない、各競技団体のメンバーが主体となって必要最小限の経費で実施している。						
	手段の適切性	3	子どもから高齢者まで、幅広い年代の方々に参加してもらえるような内容を検討していく。						
	目的達成度	4	新たにスタンプラリーを導入したことにより、参加者が大幅に増加した。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
体育の日に本行事を実行することは、スポーツを始めるきっかけの場や健康促進の機会として役割は大きい。今後は、誰もが行える種目やニュースポーツを取り入れる等の工夫をしながら、充実を図っていく。							維持		